

「みらいのおおくまマッピングワークショップ 「できたらいいこと」を語り合う」

日 時 令和6年1月27日(土) 14時～16時30分

場 所 大熊町役場1階 多目的スペース

参加者 13名

主な内容

・令和5年度に完成した社会教育複合施設基本構想のご説明

—過去に行ったワークショップの振り返り

「本と文化財と歴史公文書で何ができる?」「記憶と記録で紡ぐあなたの大熊町」

—施設コンセプト・活動方針・整備スケジュール等

・社会教育複合施設基本計画のご説明

—過去に町内で行ったまちづくり関連ワークショップの結果の分析と当ワークショップの位置づけ

・ワークに取り組むための情報提供

—「交流と創造」を掲げた山口県山口市の山口情報芸術センター(YCAM)を事例に当センター勤務の会田氏より

・ワークショップ①②

—自己紹介

—グループごとに大熊町で「できたらいいこと」を共有し、「できたらいいこと」ができる場所を考える

・ワークショップ③

—「できたらいいこと」の背景を考える

・おおくま「できたらいいこと」マップをつくる

◆梨グループ

ワーク①②



ワーク③



◆ラ・フランスグループ

ワーク①②



◆ラ・フランスグループ
ワーク③



おおくま「できたらいいこと」マップ

